

特集

★次世代の人材育成・人材確保に取り組むクラブ★

一般社団法人Sany TOMI 長野県東御市

活動基盤・活動環境をより充実させ、持続可能な総合型クラブの運営をめざすには、地域住民の主体的な参画によって推進され持続的な活動が行えるよう、新しい人材を積極的に受け入れ、世代交代を図りながら次世代の育成・継承に係る体制を整えることが必要となります。

そこで今回は、人材育成・人材確保に取り組むクラブについてご紹介します。

1

クラブ概要

「こども旋風」をまきおこせ！ 誰もが笑顔で輝ける場所それがSany TOMI

令和元(2019)年6月の設立準備委員会発足以来、スポーツ団体、行政、地域住民など、多様な主体が参画し、持続可能なクラブづくりをめざして議論を重ねてきました。コロナ渦の影響を受けながらも、地域に根ざした活動となるよう、理念とクラブ名を丁寧に検討し、令和4(2022)年2月、一般社団法人Sany TOMIとして正式に設立されました。

【理念】

こどもを中心に関わるみんなが元気になる 柔らかな「こども旋風」をまきおこす土台となる

子どもたちが元気・しあわせだと周りの大人も巻き込まれて「笑顔になる」「元気になる」「触発される」、そんな環境を地域住民とつくっていききたい、支えていききたいという想いで理念を掲げました。子どもたちだけではなく、年齢、障がいのあるなし関係なく一緒に活動ができ、要望や時代に合わせ、柔軟性を持ちながら生涯を通じて関われるクラブをめざしています。

理念策定において、私たちは「多種目・多世代・多志向」といった一般的な言葉に頼るのではなく、より具体的な、そして私たちの心に響く言葉を選びたいと考えました。

そこで、「こども旋風」という造語を創出しました。これは、子どもたちがさまざまな活動を通じて成長し、その元気な姿が地域全体に広がるような、そんな未来を描き出したものです。この言葉は、単に多様な人々が集まる場を提供するだけでなく、子どもたちの成長を後押しし、地域を活性化するという私たちの強い意志を表現しています。

さらに、理念は単なるスローガンではなく、私たちの行動の羅針盤となるべきだと考えました。新しい活動を始めたり、困難な状況に直面したりしたとき、この理念に立ち返り、私たちのめざす方向性を再確認できるようにしました。

【クラブ名】Sany TOMI

S(Smile, Shine, Sunny) + any(誰でも) = 誰もが笑顔で輝ける場所

クラブ名は東御市で公募をしました。応募いただいた名前には「Smile(笑顔)」「Shine(輝き)」などの言葉を使った名前が多くあり、『S』を頭文字にした名前にした「Sany」と地域を支えたい、支えていただきたいという想いを込め、「TOMI」と東御市(とうみ)の名前を入れ「Sany TOMI」としました。

2 スクールだけでなく、東御市と連携した事業も推進

現在の活動は、あらゆる運動の基礎となる運動をする『運動スクール』、人気の習い事『ダンススクール』、バランス感覚、体幹トレーニングに最適な『スラックライン』の定例事業と農業用水の溜池を活用した『カヌー体験』などを実施しています。

また、地域のスポーツ推進、イベントの運営、学校支援など東御市と連携をした事業も積極的に推進しています。



発表会「Sany Fest.」
お寿司屋さんにふんした演技



ダンススクール「HIPHOP」クラス

地域おこし協力隊×人材で活動の促進と土台づくりを展開

また、「Sany TOMI」の大きな特徴として「地域おこし協力隊×人材」があります。

現在、「Sany TOMI」の運営をしているのは3名ですが、全員地域おこし協力隊の経験者です。地域おこし協力隊とは、都市部から人口減少や高齢化など、さまざまな課題を抱える地域に移住し、地域の魅力を発掘・発信したり、地域産業を盛り上げたりするなど、地域活性化のために活動する人材のことです。

具体的な活動内容としては、地域ブランドや特産品の開発・販売、農林水産業への従事、住民支援、観光振興など、地域によってさまざまな活動があります。

国から自治体へ補助金が交付されるため、協力隊には、報酬(生活費として支給)、住居(住む場所提供)、仕事(地域活性化のためのさまざまな仕事)が提供されます。

任期は一般的に3年間ですが、地域によっては異なる場合があります。任期終了後には、地域に定住し、地域の一員として活躍することが期待されています。

それぞれの地域おこし協力隊としてのミッションは、現クラブマネージャーの上菌は「総合型地域スポーツクラブの設立」で立ち上げ、アシスタントマネージャーの鈴木は「児童期の運動促進」で基盤づくり、現地域おこし協力隊の森山は「地域の幅広い世代に向けた運動促進」で活動の促進と土台づくりから展開まで、と地域おこし協力隊が主体となってクラブをつくり上げてきました。



(左) 森山 雅斗
～2022年 日本体育大学学友会体操部
2023年4月～地域おこし協力隊

(中) 上園 美千代(クラブマネージャー)
2018年4月～地域おこし協力隊
2021年4月～特任地域支援員
2022年3月 退任

(右) 鈴木 清香(アシスタントマネージャー)
～2016年 日本体育大学学友会体操部
2020年4月～地域おこし協力隊
2024年3月 退任

東御市はスポーツ振興に、地域おこし協力隊制度を積極的に活用しています。都市部からスポーツ振興の担い手を招き入れ、地域住民と協力して「Sany TOMI」を設立しました。スポーツを通じて地域活性化を推進しています。日本体育大学との連携協定も活かし、スポーツの力で東御市をさらに元気なまちへと変えていく取り組みを進めています。

3

若手人材の活躍が地域に新たな風を吹き込み 相乗効果が生まれる

地方では、若者の減少が深刻な問題となっています。この問題解決の一環として、東御市の地域おこし協力隊制度と、東御市と日本体育大学との連携協定を活用し、スポーツ分野で高い専門性を持つ人材を積極的に誘致しています(日本体育大学とは連携協定締結前から体操部の夏合宿やゼミ合宿、野外活動実習の受け入れを行っているという関係がありました)。



日本体育大学体操部出身者による「運動スクール」

「Sany TOMI」の鈴木、森山もその一例です。2人は、日本体育大学で培った知識と経験を活かし、地域スポーツの振興に貢献しています。この取り組みは、若手人材に安定した生活基盤と活躍の場(地域おこし協力隊×Sany TOMI)を提供することで、安心して自身のやりたい活動ができ、そしてそのことが地域活性化につながっています。

また、このように県外からの人材によって地域に新たな風が吹き込まれています。それぞれの経験や知識を活かした新たなプログラムや仕組みが生まれ、地域の魅力向上や事業の効率化に貢献しています。地域住民や組織との連携を通じて、新たな価値観が生まれ、相乗効果を発揮しています。

今後の課題としては、地域おこし協力隊の定着率向上です。隊員が退任後も東御市で働き続けたいと思えるよう、魅力的な仕事や生活環境を提供する必要があります。そのためには、地域企業との連携強化や、新たな雇用創出に向けた取り組みが不可欠です。

4

今後の展望

人材の確保・定着を図り、全世代が元気になるクラブをめざして

スタートしてまだ3年の「Sany TOMI」は、これから地域と共に成長していく段階です。人財の確保・定着を図ると共に地域に愛されるクラブとなるよう、地域課題と向き合い新たな価値の創出をしていきたいと考えています。

今後としては、「こどもを中心に関わるみんなが元気になる」という理念のもと、子どもたちのプログラムだけでなく、大人も一緒に楽しめるような新たな取り組みを、東御市や関係機関と連携して進めていきたいと考えています。未就園児の親子プログラム、子育て世代の運動不足解消や地域資源を活かした新たなプログラムの開発をめざします。

また、将来、今の子どもたちが大人になったときにも元気に楽しくいられる「Sany TOMI」をめざし、地域に根ざした活気あふれるスポーツクラブとして存在し続けられるよう、持続可能な運営体制の構築にも力を入れていきます。



青空「スラックライン」

Sany TOMIは、まだ発展途上ですが、地域の方々との共創を通じて、よりよいスポーツ環境を創出していきたいと考えています。

一般社団法人Sany TOMI クラブマネージャー 上 蘭 美千代

クラブプロフィール

設立年月日 令和4年2月22日(同日 法人登記)

所在地 長野県東御市大日向319

運営 会員数:117名(令和6年12月現在)、予算規模:19,693,000円(令和6年度)

特徴 ●理念に「こどもを中心に関わるみんなが元気になる柔らかな『こども旋風』をまきおこす土台となる」を掲げ、子どもたちだけではなく、年齢、障がいのあるなし関係なく一緒に活動ができ、要望や時代に合わせ、柔軟性を持ちながら生涯を通じて関われるクラブをめざしています。

●年3回広報誌を発刊しています。

こちらをご覧ください➡<https://sanytomi.com/blog/sany-pr-mag/>

連絡先 〒389-0404 住所:長野県東御市大日向319
TEL:0268-55-3330 FAX:0268-55-3330
HP:<https://sanytomi.com/>
E-mail: info@sanytomi.com